

# くまもと国際マンガCAMP in 阿蘇高森

9月16日(日)から4日間、世界19ヶ国52人の発信力に溢れる漫画クリエイターが高森町に滞在し、日本文化や郷土芸能を体験しながら、日本の漫画のノウハウや各国の漫画事情などを学ぶ「くまもと国際マンガCAMP in 阿蘇高森」が開催されました。

今年5月、幼少期を高森町で過ごした出版社コアミックス堀江社長がマンガCAMPの開催を発表。以来、くまもと国際マンガCAMP in 阿蘇高森実行委員会が主軸となり、「世界から熊本に！熊本から世界へ漫画を発信！熊本をマンガの聖地に！高森を漫画家のシリコンバレーに！」をテーマに、キャンプ開催準備を着々と進めてきました。

クリエイターの創造力をかき立てる魅力溢れる高森町でのおもてなし満載の4日間をご紹介します！



本格的なキャンプが始まりました。上色見生涯学習センター体育館での開校式後、サイレントマンガを絵コンテ化したサイレントムービーの上映会が行われました。

マンガCAMP 1日目

9/17 (月)



昼食は、阿蘇フォークスクールのグラウンドに15メートルもの長さの流しそうめん台2基が完成！そうめん以外にもひごむらさきを用いた高森ならではのご飯のつけあわせに、参加者も初トライ。高森町食生活改善推進員(食改)のお母さん方が腕を振りました。



食事中、前原仁田神社獅子舞保存会による獅子舞が披露されました。

獅子に噛まれるのは「魔よけ」と言われ、頭を差し出す参加者。



東京大学・酒井教授による脳とマンガの関連性についての講義などの座学を終えた一行は、高森田楽村に場所を移し町の郷土料理でお腹を満たしました。



お腹も満たされたところで、国内外で有名なプロの漫画家次原隆二先生、富沢順先生たちから学ぶ「マンガ講座」。皆さん真剣そのもの。



キャンプ本番を翌日に控え、この日は休暇村南阿蘇でレセプションパーティーでした。花を添えるのは着物姿の司会陣。

9/16 (日)



世界サイレントマンガオーディションで特に優秀な成績を取めたクリエイターに与えられる称号「マスタークラス」の称号授与式が行われました。

高森中・高吹奏楽部による天才バカボンや銀河鉄道999などの演奏に会場も大いに盛り上がりました。

